



2015年4月20日

## ArCS プロジェクト公募に関する提言

### JCAR ワークショップ「ArCS で実施すべき研究テーマについて」報告

北極環境研究コンソーシアム（以下、**JCAR**）は、**ArCS**（北極域研究推進プロジェクト）の公募要領に沿う研究課題（メニュー）として何が重要か、そして、北極環境研究を効果的に実施するために望まれる枠組み作りや体制（課題設定や課題間の連携のあり方など）を議論するため、平成27年3月30日(月)の午後、東京大学工学部3号館3階33号教室において、**JCAR** ワークショップ「**ArCS** で実施すべき研究テーマについて」を開催した。

ワークショップでは、参加者から次に示す意見や要望が出された。

#### 1) 代表機関について：

**ArCS** の申請を行う代表機関等は、北極環境研究に携わる我が国の研究者コミュニティの意見を十分に吸い上げ、議論を尽くし、その研究機関の利益にのみに固執することなく研究計画を立案してほしい。特に、**ArCS** の申請に関わる代表機関等は、北極環境研究に携わる我が国の研究者コミュニティを束ねる重要な役割を有する。研究者が大学などの研究機関に分散して所属していることを考慮した場合、代表機関としては、北極環境研究に関わるあらゆる分野を総括できる研究機関（例えば、大学共同利用機関法人の傘下にある研究機関）が望ましい。

#### 2) 代表機関と副代表機関の連携について：

代表機関と副代表機関は、我が国の北極環境研究を牽引する使命を有する。そのため代表機関と副代表機関は互いに十分に連携し、研究者コミュニティとも十分に連携することを期待する。代表機関と副代表機関には、研究者が持てる力を最大限発揮できるよう、かつ、我が国の北極研究をさらに活性化できるような体制を確立することを強く希望する。

#### 3) 上記に関連するその他の意見：

ワークショップで出されたその他の意見を以下に列挙する。

3-1) GRENE (北極気候変動研究事業) では大気、海洋、陸域、雪氷などの対象 (分野) ごとにグループ化したが、ArCS では、GRENE に入らなかった分野も含め、GRENE とは異なるグループ化が必要である。

3-2) 異なる研究機関に属する研究者が連携できることを担保して頂きたい。

3-3) ArCS の実施開始後にも新しい研究計画が参入できるよう、柔軟な体制作りを期待する。

3-4) 課題横断的に、モデル分野や人文社会科学分野を取りまとめることを提案する。

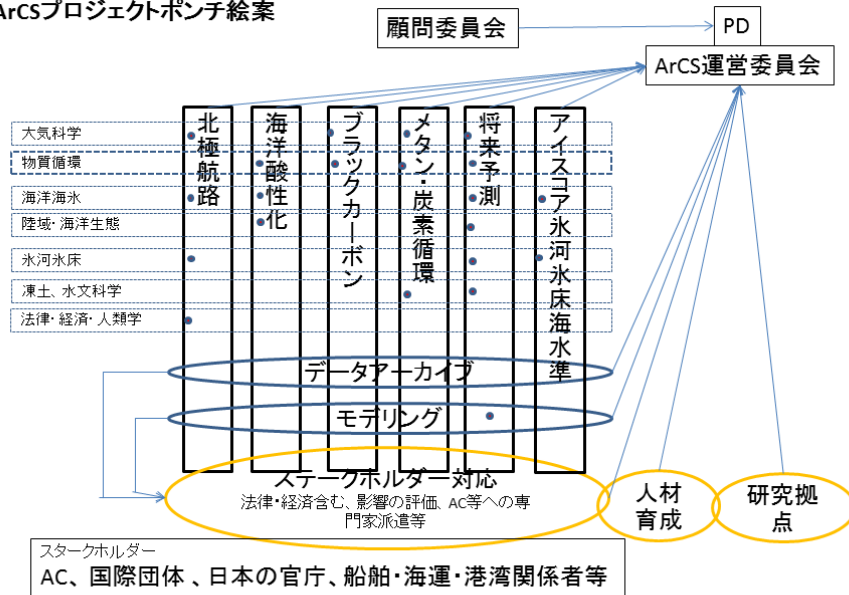
3-5) ステークホルダーに研究成果を伝えるシステムとアウトリーチの戦略が必要である。

3-6) 異なる研究機関に属する研究者が参加している JCAR は、そのネットワークを活かすことで、若手研究者派遣支援やアウトリーチに協力できる。

4) 研究課題の設定について：

様々なステークホルダーとの連携を視野に入れた場合、下記のように構造化する案がだされた。研究課題(縦軸)は仮に入れているもので、統一された見解ではない。“・”は縦軸と横軸の関与が比較的強いところを示す。

ArCSプロジェクトポンチ絵案



以上

## JCAR ワークショップ「ArCS で実施すべき研究テーマについて」

平成 27 年 3 月 30 日（月）13:00～17:00

東京大学工学部 3 号館 3 階 33 号教室

1. 趣旨説明（10 分）
2. ArCS 公募要項の概要説明（10 分）  
    兒玉裕二（JCAR 事務局）
3. 各分野における研究テーマ提案（100 分：1 件当たり 10 分を想定）
  - a. 大気観測  
    小池 真（東京大学大学院理学系研究科）
  - b. 炭素循環  
    青木周司（東北大学大学院理学研究科）
  - c. モデル  
    羽角博康（東京大学大気海洋研究所）
  - d. 陸域  
    檜山哲哉（名古屋大学地球水循環研究センター）  
    杉本敦子（北海道大学大学院地球環境科学研究院）
  - e. 雪氷  
    榎本浩之（国立極地研究所北極観測センター）
  - f. 海洋観測  
    大島慶一郎（北海道大学低温科学研究所）
  - g. 気象, 波浪, 海氷予測と北極航路  
    山口 一（東京大学大学院新領域創成科学研究科）
  - h. その他
    - 北極域ガバナンスにおける国家と先住民組織  
        高倉浩樹（東北大学東北アジア研究センター）
    - 北極ガバナンスの研究  
        柴田明穂（神戸大学大学院国際協力研究科）
- 休憩（10 分） ——
4. 総合討論（100 分）
5. まとめ（10 分）

注) ArCS: Arctic Challenge for Sustainability Project（北極域研究推進プロジェクト）

## JCAR ワークショップ「ArCS で実施すべき研究テーマについて」参加者リスト

小池真	東大	杉本敦子	北大
檜山哲哉	名大	鈴木力英	JAMSTEC
青木周司	東北大	山内恭	NIPR
木村詞明	東大	田村岳史	NIPR
末吉哲雄	NIPR	柴田明穂	神戸大
中村尚	東大	羽角博康	東大
浮田甚郎	新潟大	近藤豊	東大
東久美子	NIPR	川村賢二	NIPR
青木輝夫	気象研	小室芳樹	JAMSTEC
金谷有剛	JAMSTEC	滝川雅之	JAMSTEC
高田久美子	NIPR	野沢徹	岡山大
川崎高雄	東大	大石龍太	東大
内田雅己	NIPR	阿部彩子	東大
田中博	筑波大	富川喜弘	NIPR
榎本浩之	NIPR	山口一	東大
大畑哲夫	NIPR	齋藤冬樹	JAMSTEC
中村卓司	NIPR	金野祥久	工学院大
宮岡宏	NIPR		

(順不同)